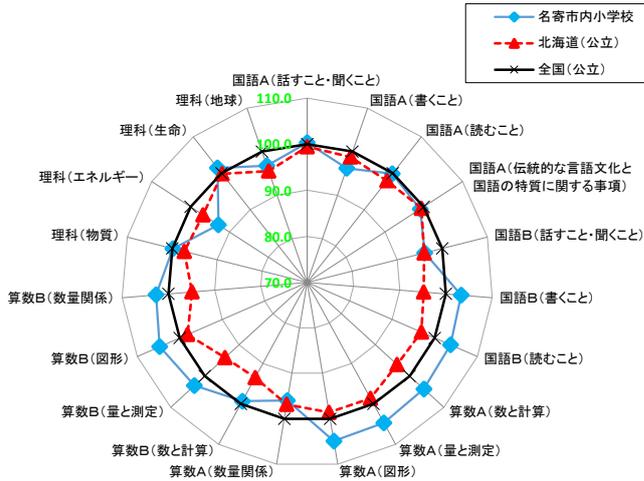


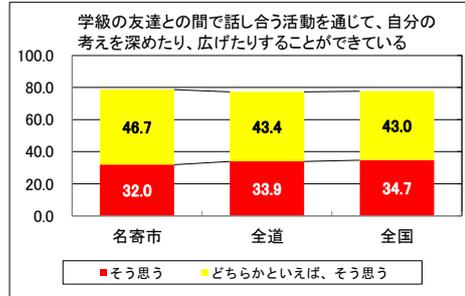
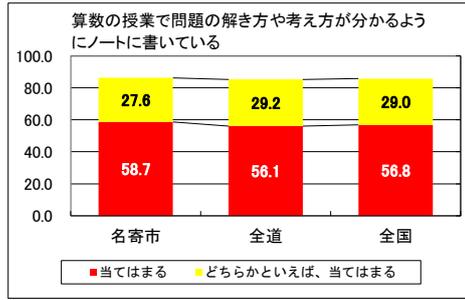
■名寄市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:7校、児童数:224人)

【教科全体の状況】

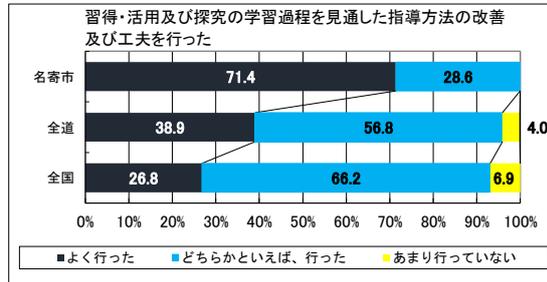
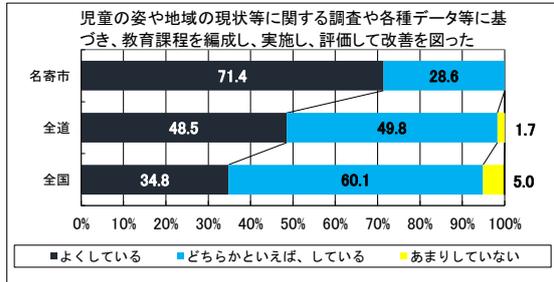
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語B、算数A・Bにおいて、全国を上回っている。 ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」、Bでは、「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」「量と測定」「図形」、Bでは、「量と測定」「図形」「数量関係」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「生命」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書くことを指導したことにより、算数A・Bの6領域において全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできるようにするなど、言語活動の充実を図ったことにより、学習内容の定着が図られ国語Aの1領域において全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたことにより、授業改善が図られ、国語A・Bの3領域、算数A・Bの6領域、理科の1領域で全国を上回ったと考えられる。

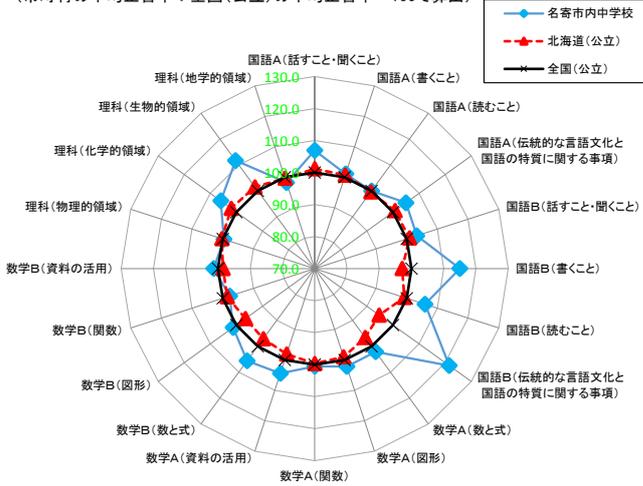
【名寄市の学力向上策】

- ◎ 名寄市教育改善プロジェクトによる、市内小・中学校一体となった学習規律の確立と学力向上の取組の推進
- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び書く活動を重視した取組の充実
- ◎ 学習内容の確実な定着に資する、家庭学習の評価・指導及び家庭への啓発を図る取組の推進

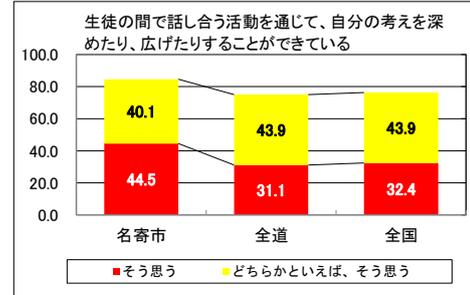
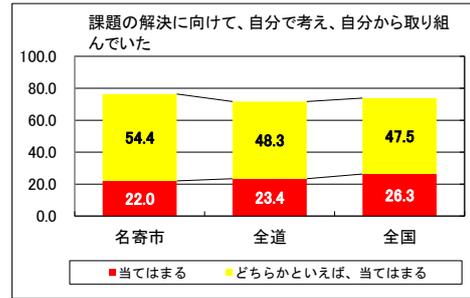
■名寄市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:180人)

【教科全体の状況】

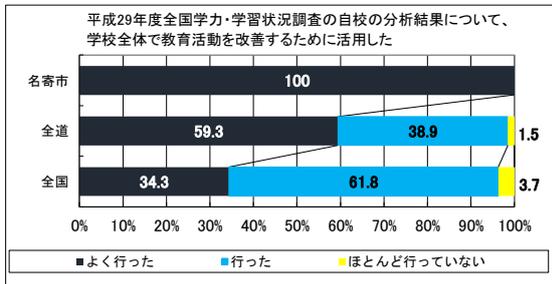
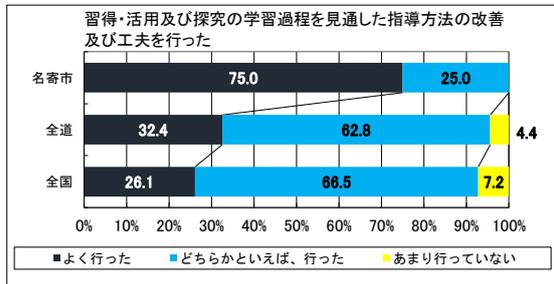
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教科において、全国及び全道を上回っている。 ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、全ての領域で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Aでは、全ての領域、Bでは、「数と式」「図形」「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「化学的領域」「生物的領域」で全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、考えを深めたり、広げたりすることができるよう生徒の間で話し合う活動を設定したことにより、国語Aの3領域、国語Bの4領域で全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用したことにより、授業改善が図られ、全ての教科で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校が、「平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答している。 	

【名寄市の学力向上策】

- ◎ 名寄市教育改善プロジェクトによる、市内小・中学校一体となった学習規律の確立と学力向上の取組の推進
- ◎ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び書く活動を重視した取組の充実
- ◎ 学習内容の確実な定着に資する、家庭学習の評価・指導及び家庭への啓発を図る取組の推進